

第3章

歴史

長い歴史を誇る弁慶力餅競技大会。そこには競技を設立した先人たちの想いがありました。そしてその歴史の中には、人々の印象に残る出来事や偉大な記録などが誕生し、観る人を熱狂させました。競技大会のこれまでの軌跡をたどっていきます。



昔の駅前には平らな道路で、50mを超える数々の大記録が生まれた(1978年)



取材を受ける石川昭さん(1993年)



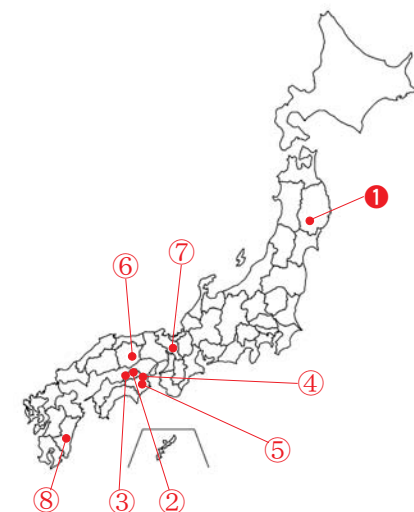
多くの人でにぎわう駅前広場(1980年)

競技大会の始まり

弁慶力餅競技大会は、武蔵坊弁慶の人柄と豪勇さをたたえ、とともに平泉駅前の活性化を図るため、1926年に駅前周辺の商店を中心とした有志の人たち(旦那衆)により企画運営されました。競技の概要は、「総重量160kgにもなる巨大な鏡餅を載せた三方を競技者の腹(腹には餅を載せるための太鼓帯がきつく締められる)にひっくり返した状態で載せ、それを両手で抱えながら歩き、距離を競うもの」として決められました。毎年5月の春の藤原まつりでは、まつりの最後をかざる行事として弁慶力餅競技が行われ、78年まではほぼ毎年(終戦時の45年は未開催)開催されることで、春の藤原まつりの主要イベントとして定着しました。

全国の力餅大会

全国各地で開催されている力餅大会の開催場所を紹介。三方と餅を担ぐのは共通していますが、大会ごとに重さや担ぎ方、競技内容などに違いがあります。



香川県善通寺市の善通寺で開催される力餅大会

その後、79年4月15日に「弁慶力餅競技保存会」が設立、競技大会が運営されるに至っています。

競技内容の変遷

大会を盛り上げるため、1995年から2014年まで弁慶力餅競技大会の前に、弁慶そり引き大会を同時に開催してきました。対象は小学生と中学生以上

上の男性と女性で、小学生は10人以内、中学生以上の男性は3人以内、中学生以上の女性は5人以内でチームを組み、総重量160kgの三方と餅を載せて30mの距離を引き、そのタイムを競うというものです。子どもた

ちを応援する保護者も多く来場し、にぎわいを見せていました。ところが少子化の影響により、町内の子どもたちの人数が少なくなり、参加するチームも減少したことから、2015年には20年の長きにわたって続けられてきた弁慶そり引き大会は廃止となり、幕を閉じてしまいました。しかしその代わりに競技として、14年には子どもたちに競技の魅力を実験してもらい、未来の優勝者を育成するため、弁慶力餅競技に新たに「子弁慶の部」(小学5、6年生)が設けられました。また16年からは「女性の部」(ちびっ子弁慶の部(保育所年長児〜小学4年生))を設けるなど、参加者層の拡大を図り、大会の活性化に取り組んでいます。



子弁慶の部(2014年)



弁慶そり引き大会(2007年)

「弁慶力餅競技大会」歴代優勝者 (敬称略)

これまで93回の開催実績を誇る歴史ある弁慶力餅競技大会。その歴代優勝者の記録などを紹介します。

- ◆歴代最多優勝者 石川昭 (9回)
- ◆歴代最長記録 74.55m (1995年度、石川昭)

回	年度	氏名	住所	記録(単位:m)
38	1965	阿部 喜一	平泉町	27.00
39	1966	岩淵 造	平泉町	25.60
40	1967	岩淵 造	平泉町	48.00
41	1968	若槻 安弘	衣川村	50.25
42	1969	若槻 安弘	衣川村	52.00
43	1970	若槻 安弘	衣川村	47.20
44	1971	若槻 安弘	衣川村	45.60
45	1972	佐々木 保夫	胆沢町	47.90
46	1973	守屋 栄吉	一関市	53.60
47	1974	守屋 栄吉	一関市	37.27
48	1975	村上 彰吾	胆沢町	54.06
49	1976	村上 彰吾	胆沢町	49.20
50	1977	村上 彰吾	胆沢町	47.30
51	1978	村上 彰吾	胆沢町	49.77
52	1979	阿部 勇一	平泉町	44.13
53	1980(春)	阿部 勇一	平泉町	47.64
54	1980(秋)	菅原 正義	平泉町	53.40
55	1981	阿部 勇一	平泉町	46.55
56	1982	阿部 勇一	平泉町	55.59
57	1983	阿部 勇一	平泉町	49.43
58	1984	村上 彰吾	胆沢町	33.75
59	1985	阿部 勇一	前沢町	48.19
60	1986(春)	菅原 正義	平泉町	53.45
61	1986(秋)	石川 昭	一関市	43.90
62	1987	阿部 勇一	平泉町	45.19
63	1988	藤原 孝夫	一関市	39.19
64	1989	藤原 孝夫	一関市	49.78
65	1990	藤原 孝夫	一関市	53.26

回	年度	氏名	住所	記録(単位:m)
66	1991	石川 昭	一関市	56.53
67	1992	藤原 孝夫	一関市	62.47
68	1993	石川 昭	一関市	50.85
69	1994	石川 昭	一関市	74.18
70	1995	石川 昭	一関市	74.55
71	1996	三浦 敏彦	衣川村	52.89
72	1997	石川 昭	一関市	50.63
73	1998	村上 彰吾	胆沢町	49.60
74	1999	村上 彰吾	胆沢町	49.37
75	2000	石川 昭	一関市	57.42
76	2001	石川 昭	一関市	46.41
77	2002	菊井 洋輝	兵庫県三原町	55.13
78	2003	阿部 勇一	前沢町	39.63
79	2004	石川 昭	一関市	42.95
80	2005	佐々木 省二	一関市	36.52
81	2006	佐藤 忍	一関市	31.81
82	2007	佐藤 忍	一関市	28.58
83	2008	石川 省二	奥州市	37.20
84	2009	伊藤 忍	奥州市	33.60
85	2010	佐藤 信一	北上市	32.12
86	2011	佐藤 信一	北上市	34.00
87	2012	佐藤 信一	北上市	35.80
88	2013	佐藤 信一	北上市	36.45
89	2014	佐藤 信一	北上市	34.32
90	2015	佐藤 信一	北上市	40.70
91	2016	佐藤 信一	北上市	38.20
92	2017	段 洋司	徳島県鳴門市	39.75
93	2018	段 洋司	徳島県鳴門市	51.40

※1965年度以前の記録については不明